

平成 30 年度 依存症民間団体支援事業報告

団体名 特定非営利活動法人アスク

事業名 ASK 依存症予防教育アドバイザー養成事業

<活動内容の概要>

アルコール・薬物・ギャンブルは、私たちのすぐ身近にあります。しかし日本では、リスクが正しく認識されておらず、依存症が回復できる病気との認識もほとんどありません。この事業の目的は、依存症をよく知り回復を実感している当事者・家族・支援者が、予防のノウハウとツールをもち、地域で出張講座や啓発ができるようにすることです。

ツールであるプログラムと教材は、「正しい知識」「回復の実感」「ライフスキル」を3本柱に、7つのユニットで構成。依存症予防教育アドバイザーは、対象によってこれらを自由に組み合わせることで、発生・進行・再発を予防する講座を進めるとともに、依存症への偏見を取り除き回復を応援する社会づくりを進めます。

●ねらいは複合効果

- ・当事者・家族が講師になることによって、依存症からの回復の実感が伝わり、より効果的に偏見是正ができること。
- ・一方、当事者・家族の側は、予防の専門家としての資格をもつことで、地域で活躍する機会が得やすくなること。
- ・ライフスキルは依存症の予防だけでなく、回復にも役立つ。講師となる当事者・家族・支援者にとって、回復支援の新たなツールにもなること。
- ・依存症のジャンルや立場・職種を越えて協働する、認定アドバイザーのコミュニティができること

<事業の成果>

①プログラムの改定・作成とパワーポイント教材づくり

2018年度は、プログラム検討委員会を設置。ASKが従来活用してきたアルコール・薬物のプログラムに、ギャンブル依存症当事者・家族のヒアリングを行なって新たにギャンブルのユニットを加えるとともに、依存性薬物とライフスキルのユニットを拡充するなど、プログラムと教材の全面改訂を行ないました。

その結果、「正しい知識」「回復の実感」「ライフスキル」を3本柱にした、7つのユニットのパワーポイント教材とシナリオが完成しました。最大の特長は、対象者や時間に合わせて、

ユニットの組み合わせが可能なことです。

正しい知識	ユニット1：アルコール
	ユニット2：依存性薬物＋行為
	ユニット3：ギャンブル
回復の実感	ユニット4：依存症へのプロセスと回復
ライフスキル	ユニット5：感情対処とセルフケア
	ユニット6：仲間の圧力から身を守る
	ユニット7：関係をこわさないNO!

②トライアル講座の実施と事前事後のアンケート調査による効果測定

新たに作成したユニットは、大学生と一般を対象に6ヵ所でトライアル講座を実施し、事前事後のアンケートで効果測定を行ないました。

③第1回「依存症予防教育アドバイザー養成講座」

2019年3月2日・3日、第1回ASK依存症予防教育アドバイザー養成講座を開催しました。

募集を開始したのが2018年の暮れで、年明けには98名の応募がありました。選考認定委員会が、地域やジャンル、職種などのバランスをとりながら、30名に絞り込み、第1回養成講座にこぎつけました。受講者には事前学習資料を送りました。

北は岩手、南は沖縄から、アルコール・薬物・ギャンブル依存症の当事者・家族・支援者が東京に結集。予防をテーマにお互いから学びあった熱い2日間でした。

この講座のすごさは、その場に回復者も家族もいるし、支援者は医療・福祉系だけでなく、弁護士、刑務所の教官、市議会議員、アナウンサーまでいる多様性です。しかもジャンルも揃っています。

つまり参加者がリソースそのものであり、全員が対等な立場で意見を言いあうという、非常に貴重な場になりました。

選考認定委員会が最終テストと提出物から29名を依存症予防教育アドバイザーに認定。

Facebookグループで情報交換しつつ、違うジャンルの人たちが組んで講座を開催する動きも出ています。







ASK依存症予防教育アドバイザー養成事業

<https://www.ask.or.jp/article/%e4%be%9d%e5%ad%98%e7%97%87%e3%81%a8%e3%81%af/ask%e4%be%9d%e5%ad%98%e7%97%87%e4%ba%88%e9%98%b2%e6%95%99%e8%82%b2%e3%82%a2%e3%83%89%e3%83%90%e3%82%a4%e3%82%b6%e3%83%bc%e9%a4%8a%e6%88%90%e4%ba%8b%e6%a5%ad>

第1回ASK依存症予防教育アドバイザー養成講座

(受講者の感想もあります)

<https://www.ask.or.jp/updates/7957>